

現在の景気：県内景気は、全体として持ち直しの動きが続いている。非製造業では、観光や飲食等の対面サービス業種を中心に総じてみれば回復基調にある。製造業では、世界貿易回復などに支えられた改善基調を概ね維持している。この間、建設需要は、交通インフラ整備や物流施設などの官民プロジェクトの進展や都市部を中心とした堅調な住宅ニーズなどを背景に、底堅く推移している。

3 か月程度の見通し：対面サービス業など非製造業の業況は、今後の感染ピークアウトの時期などに左右される。この間、製造業では標準シナリオでは改善基調が維持される見込みだが、世界貿易の下振れリスクを十分に注視する必要がある。

個人消費：①上向き基調。②6月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、前年同月比 2.7%増と 8 か月連続で前年を上回った（19 年比では 15.5%減）。外出機会の増加により、衣料品や化粧品の持ち直しが進んでおり、7 月入り後も日傘などの夏物アイテムの販売が好調な模様。一方、値上げの動きが相次ぐ食料品などでは、購入姿勢が慎重化し始めているとの声も聞かれる。6 月の自動車登録台数は同 8.8%減と、世界的な部品の調達難などに伴う減産の影響で、12 か月連続で前年を下回った（19 年比では 27.5%減）。軽乗用車（前年同月比 2.3%増）は 13 か月ぶりに増加したが、一般乗用車（同 18.0%減）は前年を下回った。

住宅建築：①増加基調。②6月の新設住宅着工戸数は前年同月比 0.9%減少し、3 か月ぶりに前年を下回った。貸家（同 23.0%増）は増加したが、分譲（同 16.5%減）、持家（同 13.1%減）は減少した。

設備投資：①堅調。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、6 月の工事床面積（年度累計）は前年度比 43.5%減少し、工事予定額も同 43.9%減少した。千葉経済センターによる県内企業 216 社アンケート調査（7 月実施）では、22 年度の設備投資計画（6 月末時点）は、期初計画比（全産業）では 1.4%の減額修正となったが、21 年度実績額を 69.7%上回っている。

公共工事：①増加。②6月の県内公共工事請負額（年度累計）は、前年同月比 10.5%増加した。市区町村（同 0.4%減）は減少したが、独立行政法人（同 100.1%増）、国（同 15.1%増）、県（同 2.6%増）は増加した。

輸出：①増加。②6月の成田、千葉、木更津 3 港合計通関輸出額は、前年同月比 32.4%増と 16 か月連続で増加した（19 年比は 59.6%増）。成田空港では、半導体等製造装置（前年同月比 30.7%増）や IC（同 54.1%増）を中心に、同 29.2%増と 16 か月連続で前年を上回り、過去最大となった。千葉港は、石油製品（同 405.8%増）や鉄鋼（同 38.8%増）などの増加により、同 92.7%増と 14 か月連続で前年を上回った。木更津港は、鉄鋼（同 47.4%増）などの増加により、同 40.9%増と 15 か月連続で前年を上回った。

生産活動：①増加基調。②5月の県鉱工業生産指数（季調済）は、95.8（前月比 5.2%上昇）と 3 か月連続で上昇した。非鉄金属工業（同 19.8%低下）、輸送機械工業（同 8.2%低下）などが低下した一方、主力の化学工業（同 15.7%上昇）、金属製品工業（同 3.4%上昇）、食料品工業（同 0.9%上昇）などが上昇した。

観光：①持ち直し。②一部で感染第 7 波による影響がみられるものの、夏季ハイシーズンを迎え、観光・宿泊施設の入り込みは個人客を中心に堅調。県内では、九十九里町を皮切りに、約 3 年ぶりとなる海水浴場の開設が進められた（7 月 1 日～）。また、国の観光需要喚起策「全国旅行支援」の実施見送りを受け、県民割「千葉とく旅キャンペーン」の利用期間は 8 月末まで延長された。

雇用情勢：①回復基調。②6月の有効求人倍率（季調値）は、前月比 0.05 ポイント上昇の 1.00 倍となった。上昇は 6 か月連続で、2 年 1 か月ぶりに 1 倍台へ復帰した。有効求職者数（同 0.4%減）が減少した一方で、有効求人数（同 4.4%増）は増加した。

【トピックス】

- 三井不動産㈱と国立がん研究センターは、がん患者をサポートするホテル「三井ガーデンホテル柏の葉パークサイド」を同センター東病院（柏市）敷地内に開業した（7 月 1 日）。柏の葉スマートシティで形成が進むライフサイエンス拠点の中核であり、ウェアラブル端末などを導入した新たな診療モデル創出の場としての活用が期待される。
- 国税庁が公表した路線価（1 月 1 日時点）によると、千葉県内の標準宅地は前年比 0.8%上昇と、9 年連続で前年を上回った（7 月 1 日）。県庁所在地別の最高路線価の対前年度変動率では、千葉市の上昇率が初めて全国 1 位となった。
- 新型コロナウイルスの感染第 7 波が急拡大し、県内の 1 日あたり新規感染者数は初めて 1 万人を超えた（7 月 28 日）。県は、病床確保フェーズを最高レベルの「3」に引き上げたのち（7 月 27 日）、8 月 4 日には、政府が新設した「BA.5 対策強化宣言」を発令して感染対策の強化を呼びかけた。